

岩村三千夫 いわた ちかお 評論家。明治四十一年六月八日新潟縣生れ、昭和五十一年五月十六日歿（一九八一七）。筆名中山耕太郎。昭和六年早稲田大學政治經濟學部卒。十二年讀賣新聞社入社、上海特派員、東亞部次長、論說委員等歴任後、二十一年退社。次で中國研究所、日中友好協會創設に参劃。支那現代史專攻。

著書『中國の白木觀』（合著・中國研究所編、昭和二十三年一月）『新潮流社』、『アメリカの新アジア觀』（合著・中國研究所編、昭和二十三年五月）『新潮流社』、『現代ジャーナリズム論—その分析と批判』（合著・關西學院新聞部編、昭和二十二年八月十五日大阪・鼓々堂）、『民主主義と現代中國』（昭和二十四年四月五日岩波書店）『岩波新書』（、『中國現代史』（野原四郎共著、昭和二十九年十一月）『岩波書店』、『岩波新書』（、『新中國読本』（合著・内山克造編、昭和二十年六月）『産業經濟新聞社』、『サンケイ新書』（、『現代中國と孫文思想』（共編、昭和四十一年一月二十八日講談社）等。



現代中国と孫文思想
岩村三千夫編



現代中国と孫文思想 / 岩村三千夫編

「革命いまだならず」の言を遺して孫文は逝った。三民主義の提唱者、20世紀初頭の中國民主主義革命の指導者孫文の思想は、現代中國の内部に脈搏している。中國現代史の輝ける巨星孫文の理想と偉業を論評した生誕百周年記念出版。
講談社刊 380円